

TORO®

Count on it.

オペレーターズマニュアル

スタンダードバケットスペーサ付き
コンパクトツールキャリア用

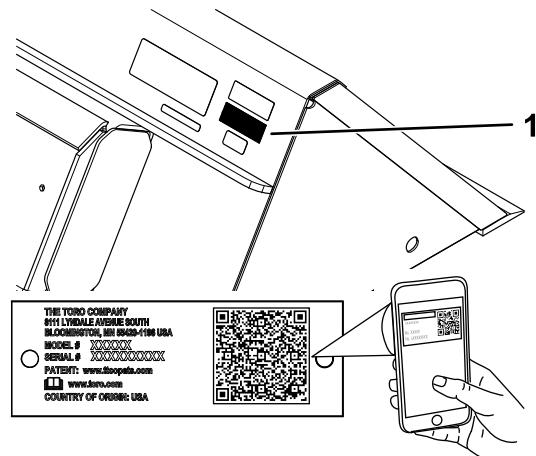
モデル番号 22522—シリアル番号 40100000 以上



⚠ 警告

カリフォルニア州 第65号決議による警告

米国カリフォルニア州では、この製品を使用した場合、ガンや先天性異常などを誘発する物質に触れる可能性があるとされております。



g294865

図 1

1. モデル番号とシリアル番号の表示場所

モデル番号 _____

シリアル番号 _____

この説明書では、危険についての注意を促すための警告記号図2を使用しております。これらは死亡事故を含む重大な人身事故を防止するための注意ですから、必ずお守りください。



g000502

図 2

1. 危険警告記号

この他に2つの言葉で注意を促しています。重要「重要」は製品の構造などについての注意点を、注はその他の注意点を表しています。

はじめに

このバケットは、トロ社のツールキャリア用に製造された重荷重用アタッチメントです。このアタッチメントは、岩、土、砂などを移動運搬することを主な目的とする製品です。この機械は本来の目的から外れた使用をすると運転者本人や周囲の人間に危険な場合があります。

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑の掛からないまた適切な方法でご使用ください。この製品を適切かつ安全に使用するのはお客様の責任です。

製品の安全や取り扱い講習、アクセサリなどに関する情報、代理店についての情報の入手、お買い上げ製品の登録などをネットで行っていただくことができます www.Toro.com

整備について、また純正部品についてなど、分からることはお気軽に弊社代理店またはカスタマーサービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。図1にモデル番号とシリアル番号を刻印した銘板の取り付け位置を示します。いまのうちに番号をメモしておきましょう。

重要シリアル番号デカルについているQRコード無い場合もありますをモバイル機器でスキャンすると、製品保証、パーツその他の製品情報にアクセスできます。

目次

安全について	3
安全上の全般的な注意	3
斜面での安全確保	3
バケットに関する安全事項	4
安全な保守整備と格納保管	4
安全ラベルと指示ラベル	5
製品の概要	5
仕様	5
最大重量時の資材最大密度	5
運転操作	6
アタッチメントの取り付けと取り外し	6
バケットに資材を入れる操作	6
移動走行位置	7
保管	7

安全について

▲危険

この機械で掘削する現場の地中に、電線などが埋設されている可能性があります。これらを誤って破損すると、感電や爆発などの事故に発展する可能性があります。

事故防止のため、作業現場を前もって精査し、埋設物を確認し、マーキングするなど、適切な措置をとってください。必要に応じ、電力会社やガス会社に連絡して正確な埋設場所を特定、マーキングしてもらうなどしてくださいたとえば米国では電話811で、またオーストラリアでは電話1100で国中のどこでもこのサービスを受けることができます。

安全上の全般的な注意

重傷事故や死亡事故を防ぐため、注意事項を厳守してください。

- アタッチメント付きのアームを上昇させたままで移動走行しないでください。移動走行時は、アタッチメントができるだけ地表面に近い状態に維持してください **移動走行位置 (ページ 7)**を参照。
- 事故防止のため、作業現場を前もって精査し、埋設物その他の障害物を確認してマーキングするなど、適切な措置をとってください。
- エンジンを始動する前に必ずこのオペレーターズマニュアルをお読みになり内容をよく理解してください
- この機械を運転する時は常に十分な注意を払ってください。運転中は運転操作に集中してください注意散漫は事故の大きな原因となります。
- 子供やトレーニングを受けていない大人には、絶対に運転をさせないでください
- 稼働中の機器やアタッチメントに手足を近づけないよう注意してください。
- ガードなどの安全保護機器が正しく取り付けられていない時は、運転しないでください。
- 作業中は人や動物を十分に遠ざけてください。
- 整備、燃料補給、詰まりの解除作業などを行う前には、必ず停止し、エンジンを切り、キーを抜き取ってください。

間違った使い方や整備不良は負傷などの人身事故につながります。事故を防止するため、以下に示す安全上の注意や安全注意標識▲のついている遵守事項は必ずお守りください。「注意」、「警告」、および「危険」の記号は、人身の安全に関わる注意事項を示しています。これらの注意を怠ると死亡事故などの重大な人身事故が発生する恐れがあります。

斜面での安全確保

- 斜面を上りながら、あるいは下りながら作業をする時は、機体の重い方の側を山側にしてください。

重量の分布はアタッチメントによって変わります。重量物を取り扱うアタッチメントは、空の時は後ろが重くなり、満杯の時は前が重くなります。他のほとんどのアタッチメントは、装着すると機体の前方が重くなります。

- 斜面ではアタッチメントを下げるおいてください。
斜面でアタッチメントを上げると機械の安定が悪くなります。
 - 斜面はスリップや転倒などを起こしやすく、これらは重大な人身事故につながります。どんな斜面や不整地であっても、通常以上に十分な注意が必要です。
 - 斜面での運転についてルールや手順を決めておきましょう。その際、各刈り込み現場の実地調査を行い、それぞれの斜面の角度が機械の乗り入れに安全な範囲にあるかどうかを調べてください。この調査においては、常識を十分に働かせてください。
 - 斜面では速度を落とし、安全に十分注意してください。地表面の状態は、マシンの安定性に大きな影響を与えます。
 - 斜面での発進・停止は避けてください。坂を上れないといふかったら、そのままゆっくりとまっすぐに坂を下りてください。
 - 斜面での旋回は避けてください。斜面で旋回しなければならない場合は、機体の重い側を山側にしてください。
 - 斜面ではどんな動作でもゆっくり、少しずつ行ってください。急旋回したり不意に速度を変えたりしないでください。
 - 斜面での作業に自信が持てない時は、作業を行わないでください。
 - 凸凹のある地形では機体が転倒する恐れがあります。穴やわだち、隆起に十分注意してください。深い芝生に隠れて障害物が見えないことがあります。
 - ぬれた面の上で作業するときは安全に特に注意して行ってください。大変すべりやすく、スリップを起こすと危険です。
 - マシンが進入できるしっかりした地盤であることを確認してください。
 - 以下のような場所では、運転に特に注意してください
 - 段差のある場所
 - 溝の近く
 - 小高く盛り上がっている場所
 - 池などの近く
- 万一クローラが段差や溝に落ちたり、地面が崩れたりすると、機体が瞬時に転倒し、非常に危険です。必ず周囲から安全距離を確保してください。
- 斜面では、アタッチメントの着脱をしないでください。
 - 法面には駐車しないでください。

バケットに関する安全事項

- マシンの操縦、調整、修理などを行う時には、手袋、安全めがね、長ズボン、頑丈で滑りにくい安全な靴、および聴覚保護具を着用してください。
- 運転位置を離れる場合は必ずアタッチメントを降下させ、マシンを停止させてください。
- アタッチメントを上昇させる時は、資材を後方にこぼさないように水平に上昇させてください。

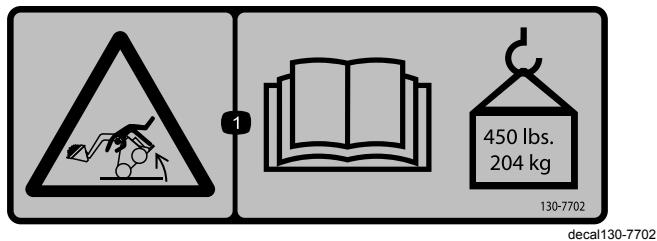
安全な保守整備と格納保管

- 安全作業ができるように、締結具の点検を頻繁に行ってください。
- このアタッチメントを長期間にわたって外して保管する場合には、オペレーターズマニュアルの説明に従ってください。
- 機体に貼ってある安全ラベルや説明ラベルは必要に応じて新しいものに貼り替えてください。

安全ラベルと指示ラベル



以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



130-7702

1. 転倒の危険オペレーターズマニュアルを読むこと負荷が 204 kg を超えないようにすること。

⚠ WARNING: Cancer and Reproductive Harm - www.P65Warnings.ca.gov.
For more information, please visit www.ttcocapro65.com

133-4961

decal133-8061

133-8061

製品の概要

仕様

注 仕様および設計は予告なく変更される場合があります。

幅	107 cm
長さ	75 cm
高さ	36 cm
重量	80 kg
容量	
SAE 平積み容量	0.12 m ³
山積み容量	.015 m ³
定格最大重量	204 kg

いつも最高の性能と安全性を維持するために、必ず Toro の純正部品をご使用ください。他社の部品やアクセサリを御使用になると危険な場合があり、製品保証を受けられなくなる場合がありますのでおやめください。

最大重量時の資材最大密度

バケットで移動できる資材の密度は様々ですので、定格最大重量を超えずにバケットで一度に移動できる資材の量も様々です。最初の 2 つの表では、バケットで運べる資材の密度を、平積み擦り切りおよび山積みで示しています。資材の密度表に掲載しているのは、一般的な資材のみです。

最大容量時の許容密度

バケット収容量	最大許容密度
山積み	1360 kg/m ³
平積み擦り切り	1676 kg/m ³

資材の密度

資材名	密度概算値
カリーチ	1250 kg/m ³
粘土:	
天然層	1600 kg/m ³
乾燥	1480 kg/m ³
湿潤	1660 kg/m ³
砂利と混合乾燥	1420 kg/m ³
砂利と混合湿潤	1540 kg/m ³
石炭	
無煙炭碎片	1100 kg/m ³
瀝青炭碎片	830 kg/m ³
土	
乾燥固結	1510 kg/m ³
湿潤固結	1600 kg/m ³
ローム	1250 kg/m ³
花崗岩碎片および粉碎片	1660 kg/m ³
砂利	
乾燥	1510 kg/m ³
天然堆積砂利	1930 kg/m ³
乾燥 13-51 mm	1690 kg/m ³
乾燥 13-51 mm	2020 kg/m ³
石灰石碎片および粉碎片	1540 kg/m ³
サンドプロ:	
乾燥	1420 kg/m ³
湿潤	1840 kg/m ³
砂利と混合乾燥	1720 kg/m ³
砂利と混合湿潤	2020 kg/m ³
砂岩碎片	1510 kg/m ³
頁岩	1250 kg/m ³
スラグ碎片	1750 kg/m ³
石粉碎片	1600 kg/m ³ (100 lb/ft ³)
表土	950 kg/m ³ (59 lb/ft ³)

運転操作

前後左右は運転位置からみた方向です。

アタッチメントの取り付けと取り外し

取り付けと取り外しの手順についてはトラクションユニットのオペレーターズマニュアルを参照してください。

重要アタッチメントの取り付けは、平らな面の上で、マウントプレートにごみなどが付着していないこと、ピンが自由に回転することを確認して行ってください。ピンが回りにくい場合はグリスを塗ってください。

注アタッチメントの吊り上げや移動は必ずトラクションユニットで行ってください。

⚠ 警告

クイックアタッチピンをアタッチメント取り付けプレートに確実に通しておかないと、アタッチメントがトラクションユニットから外れ落ち、人身事故となる危険がある。

ピンが確実にはまっていることを確認すること。

バケットに資材を入れる操作

1. バケットを地表面に対して水平にする。
2. 前進してバケットを資材の山に突き刺す。
3. バケットに資材が入ったらマシンを後退させながら、上昇抵抗が少なくなるようにバケットをゆっくりと後方へ傾ける。

重要資材を運ぶ場合は、必ずバケットを地面に近い位置に保持する [移動走行位置 \(ページ 7\)](#)を参照。

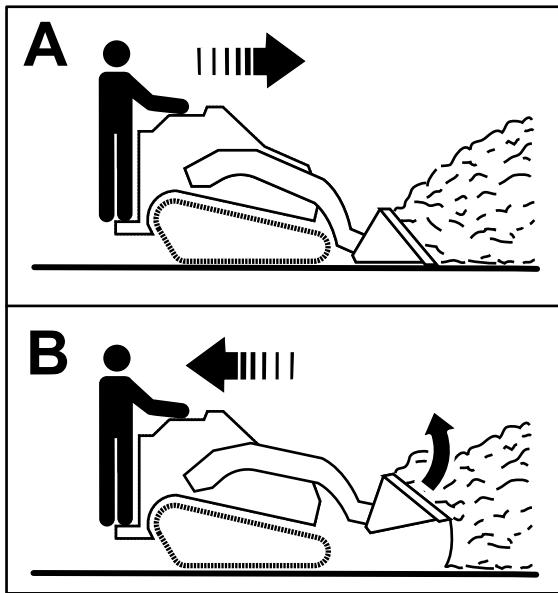


図 3

g266856

保管

1. アタッチメントを長期にわたって格納保管する場合には、洗剤と水で汚れを落とす。
2. 機体の塗装がはげていればタッチアップ修理をする。
注 ペイントは代理店で入手することができる。
3. 汚れていない乾燥した場所で保管する。ほこりなどが付かないようにカバーを掛けておく。

移動走行位置

資材を運ぶ場合は、アタッチメントを地面に出来るだけ近い位置に保持してください。地表面から 15 cm 以上の高さには上げないでください。後方に傾けて水平に保つ。

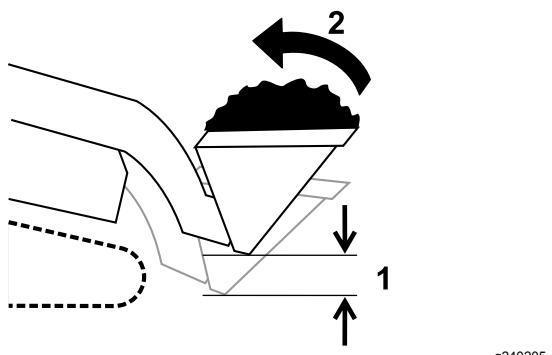


図 4

g240205

1. 地表面から 15 cm 以上の高さにしない
2. バケットを後方に傾ける

カリフォルニア州第65号決議による警告

この警告は何?

以下のような警告ラベルが貼られた製品を見かけることがあるでしょう

 **WARNING:** Cancer and Reproductive Harm—www.p65Warnings.ca.gov.

Prop 65 って何?

Prop 65 は、カリフォルニア州で操業している企業、製品を販売している企業、カリフォルニア州で販売または同州に持ち込まれる可能性のある製品のメーカーを対象とした法律です。この法律では、ガン、先天性などの出生時異常の原因となることが知られている化学物質の一覧をカリフォルニア州知事が作成維持しこれを公表しなければならないと定められています。危険物リストは、日常の生活の中で使用するものから発見された数百種類の化学物質を網羅しており、毎年改訂されます。Prop 65 の目的は、こうした物質に触れる可能性があることを市民にきちんと知らせることです。

Prop 65 は、こうした物質を含む製品の販売を禁じているのではなく、そうした製品、製品の包装、製品に付属する文書などに警告を明記することを求めてます。また、こうした警告があるからといって、その製品が何等かの安全基準に違反しているということではありません。実際、カリフォルニア州政府は、Prop 65 警告はその製品が安全か安全でないかを示すものではないと説明しています。こうした物質の多くは、様々な生活用品に何年も前から使用されておりますが、それらの物質が今までに何らかの健康問題を起こしたという記録はありません。さらに詳しい情報はこちらへ <https://oag.ca.gov/prop65/faqs-view-all>。

Prop 65 の警告は、以下のうちのどちらかを意味していますある企業が自社製品への化学物質の使用量について評価したところ、目立った危険は何一つないとされる基準を超えていたことがわかった、または (2) 製品に使用している化学物質は法律で規制されているものだったので、特に評価を行うことはせず、法に従って警告文を添付することにした。

この法律は全世界に適用されるのですか

Prop 65 警告はカリフォルニア州でのみ要求される法律です。Prop 65 警告はカリフォルニア州のいたるところで目にすることができます。レストラン、八百屋、ホテル、学校、病院など、そして非常に多くの製品にも、この警告が印刷されています。さらには、オンラインやメールオーダーのカタログなどにも掲載されています。

カリフォルニア州の警告と連邦政府の上限との関係は

Prop 65 の内容は連邦政府の規制や国際規制よりも厳しいものが大変多いです。Prop 65 の規制基準値は連邦政府基準に比べてはるかに厳しく、連邦政府基準では表示義務がないが、Prop 65 では表示義務があるものが数多く存在します。たとえば、Prop 65 の基準では、一日当たりの鉛の排出量が 0.5 マイクログラムとなっており、これは連邦政府の基準や国際基準よりもはるかに厳しい数値です。

似たような製品なのに警告が付いていないものがあるのはなぜ

- カリフォルニア州内で販売される場合には Prop 65 ラベルが必要でも、他の場所で販売される場合には不要だからです。
- Prop 65 関連で裁判となった企業が、和解条件として Prop 65 警告の表示に同意したが、そうした問題に巻き込まれていない企業の製品には何も表示されていないといったこともあるでしょう。
- Prop 65 の表示は必ずしも一律に行われているわけではないのです。
- 自社内で検討した結果、Prop 65 基準に抵触しないと判断して、警告の表示を行わないことを選択する企業もあります。警告が書かれていないからと言って、その製品に対象化学物質が含まれていないということは言えません。

なぜ Toro 製品にはこの警告が表示されているのですか

Toro では、十分な情報に基づいてお客様ご自身が判断できるようにすることができるという考え方から、できる限り多くの情報をお客様に提供することとしております。リスト記載物質のいくつかが自社製品に該当する場合、Toro では、それらの物質のほとんどの量はごくわずかであって実際の表示義務はないことを認識した上で、排出量などを厳密に評価することなく、警告を表示するという判断をすることがあります。Toro では、自社の製品に含まれる化学物質の量が「重大なリスクはない」レベルであると認識した上で、あえて Prop 65 警告の表示を行うという選択をしております。これはまた、もし Toro がこうした警告を表示しなかった場合、カリフォルニア州政府や、Prop 65 の施行推進を目指す民間団体などから訴訟を提起される可能性もあるということも視野に入れての判断です。